

- 返却拒否の事例 (写真解説) -

輸入コンテナ返却の際は、[お客様がつけた汚れか否かに関わらず](#) 必ず返却前に掃き掃除を実施し、きれいな状態でご返却ください。

掃き掃除が不徹底の場合はゲート返却時に拒否させていただく場合がございます。
次のお客様が気持ち良く使用できますよう、何卒ご協力の程よろしくお願いいたします。

下記は返却拒否の一例であり、ここに例示したものに限りませんのでご注意ください。



お客様側にて付けた汚れでなく、尚且つ手につかない汚れはそのままお受け取りいたします。



【受け取り拒否対象】お客様側で付けたか否かに関わらず、掃き掃除で取れる汚れがある場合。



【受け取り拒否対象】手につく汚れがある場合。
※該当航海でついた汚れの可能性が高いため



【受け取り拒否対象】手につく油汚れがある場合。



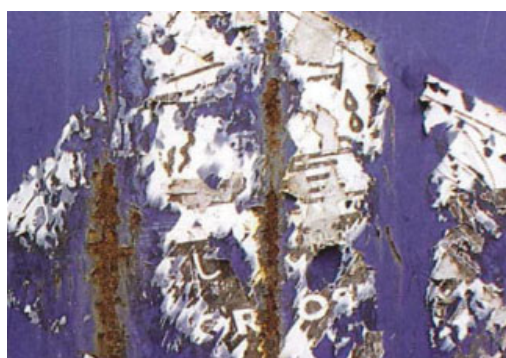
【受け取り拒否対象】手につくタイヤ痕が残っている場合。



【受け取り拒否対象】木くずや残留物が残っている場合。



【受け取り拒否対象】パネル内部にカビがある場合。



【受け取り拒否対象】危険品ラベルが十分に剥がれていない場合。